

2022年度高齢期要求実現をめざす全都共同行動 アンケート結果

自治体名

瑞穂町

1. 高齢者の基礎数について (令和4年1月1日現在)

全人口	全世帯数	65歳以上人口	高齢化率	
32,328人	15,097世帯	9,596人	29.7%	
65歳以上の内訳	65~74歳	11,048人	75歳以上	13,251人

高齢者世帯の現状について、直近の数をお願いします。なお、それが難しい場合は 国勢調査に基づく資料をお願いします。(令和2年10月1日 国勢調査)

高齢者のいる世帯数	高齢者単身世帯数	高齢夫婦のみ世帯数
世帯	2,199世帯	1,875世帯

2. 介護度別前期・後期別認定者数 (令和4年1月1日現在)

	要支援		要介護					合計
	1	2	1	2	3	4	5	
64歳以下認定者	3	4	4	5	6	8	6	36
前期高齢者認定者数	30	43	34	38	39	38	21	323
後期高齢者認定者数	139	181	223	239	192	162	90	1,226
合計	172	228	261	282	237	198	117	1,495

3. 施設別入所者人数 (令和4年4月1日現在)

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型施設	介護医療院Ⅰ	介護医療院Ⅱ	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	27	0	0	0	29
要介護2	4	39	0	0	0	43
要介護3	51	27	0	1	0	79
要介護4	75	17	2	1	0	95
要介護5	50	11	3	0	0	64
合計	182	121	5	2	0	310

4. 認定申請者数と認定された状況 (令和3年度)

	申請者人数	認定された人数
新規	426	
更新	922	
区分変更	212	
合計	1,560	1,460

高齢者
支援課

5. 介護保険施設 入所待機者について

(a) 特別養護老人ホーム 77 名 (令和4年4月1日現在)

(b) 老人保健施設 名 (令和4年4月1日現在)

6. 介護施設入所待機者の介護度別待機者数

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
特別養護老人ホーム	4	5	37	18	9	73 認定切れ4
老人保健施設						

7. 地域包括支援センターについて (令和4年4月1日現在)

- ① 現在配置されている地域包括支援センターの数 2ヶ所
- ② 配置されている職員数 8人
- ③ 配置されている保健士の人数 2人
- ④ 扱った相談件数 (令和3年度) 2,392件

8 介護保険運営委員会について (令和4年4月1日現在)

(1) 介護保険事業について調査・審議する恒常的な機関を設置していますか

- ① 設置している ② 設置していない ③ 設置を検討している

(2) 設置している場合

機関の構成員の人数 9人

市民代表は参加しているか (a) している 3人 (b) していない

年間の開催予定回数は 2回

9. 介護保険料滞納者・要介護認定者への制度について

(1) 介護保険料滞納者に「利用料3割のペナルティー」を実施していますか。
実施している場合は人数を教えてください

- ① 実施している(人) ② 実施していない

(2) 要介護認定者に「障害者控除対象認定書」を交付していますか。

交付している場合の基準はどうなっていますか

- ① 交付している ② 交付していない

交付基準は

【特別障害者控除】

- ・知的障害者（重度）に準ずる者
主治医意見書の認知症高齢者の日常生活自立度 III以上に該当
- ・身体障害者（1級又は2級）に準ずる者
主治医意見書の障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） B以上に該当

【障害者控除】

- ・知的障害者（軽度又は中度）に準ずる者
主治医意見書の認知症高齢者の日常生活自立度 IIa、IIb以上に該当
- ・身体障害者（3級から6級まで）に準ずる者
主治医意見書の障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） Aに該当

10. 令和3年度中の 新型コロナ感染についてお聞きします。 (新設) ※未把握

- (1) 貴自治体で高齢者(65歳以上)の感染した人数は何人ですか _____人)
- (2) 貴自治体で高齢者(65歳以上)の亡くなった人数は何人ですか _____人
- (3) 高齢者で亡くなった ①～④の場所ごとの人数は何人ですか
- ①病院 _____人 ②介護施設など高齢者施設 _____人
- ③自宅 _____人 ④その他(ホテル等療養施設等) _____人

11. 国民健康保険について

(1) 国民健康保険税の収納状況について

	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和3年度末
	加入 世帯数	滞納 世帯数	加入 世帯数	滞納 世帯数	加入 世帯数	滞納 世帯数	短期保険証 発行世帯数
所得割資産割 納付世帯	4,112		3,970		3,816		
均等割平等割 納付世帯	1,045		1,204		1,293		
合計	5,157		5,174		5,109		209

(2) 令和3年度に国保税を滞納した世帯に対し、財産・預金などを差し押さえましたか。

- ① している _____ 53 世帯 (_____ 4 年 _____ 3 月現在)
- ② していない

(3) 国民健康保険税の収納率について (現年度)

年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
収納率 %	92.1	92.4	92.2	93.2	93.4

(4) 資格証明書は発行していますか

- ① 発行している _____ 16 世帯 (令和4年3月現在)
- 発行していない

(5) 高齢者の被保険者への制裁措置免除は

- ① ある (_____ 69 歳以上) ② ない

12 認知症対策の部署はありますか

ある _____ 高齢者福祉課 ② ない ③ 検討中

13 高齢者一人暮らし対策は行っていますか

① 行っている 事業名 ふれあい訪問事業 配食サービス事業等

② 行っていない

14. 介護保険事業に取り入れられた以外の高齢者保険・福祉事業はどのような事業を実施していますか。事業名と予算額を教えてください。

事業名	予算額	事業の説明
高齢者自立支援日常生活用具給付事業	54千円	介護保険要支援認定の結果、非該当で歩行が不安定であるなど在宅生活継続のために必要な入浴補助用具や歩行補助用具などの給付を行う。
高齢者自立支援住宅改修給付事業	1,755千円	介護保険要支援認定の結果、非該当の方で介護予防や重度化の防止のため、居住環境の改善する場合にその費用の一部を助成する。
家族介護者支援介護タクシーサービス事業	133千円	町内に住む要介護4・5の寝たきり高齢者を介護している家族に対し、病院への通院する際の介護タクシー等の利用料金の一部を助成するとともに、介護している家族等の負担を軽減する

15. 無年金者の実態把握について

(1) 実態把握をおこなっていますか ①行っている ②行っていない

(2) 無年金者への特別給付金（公的年金によらない福祉措置）について

(ア) 実施している ② 実施していない

実施している場合 (a) 給付の名称 _____
 (b) 給付の内容 _____
 (c) 給付の対象者 _____
 (d) 実施開始年月日 _____

16. NPO（非営利事業活動）への支援策について（令和4年度予算）

(1) 実施している 事業の名称 _____

② 実施していない

17. 住宅について（令和3年度末日現在の事業について）

1. 高齢者用公営住宅の確保	室
2. 民間アパートの借り上げ	戸
3. ケアハウス	戸
4. シルバーピア	30 戸
5. 住み替え家賃補助制度	
6. 住宅改造援助	

18. 就労の充実について（令和3年度の状況）

- (1) 高齢者雇用就労の相談窓口の有無 ① あり ② なし

ある場合は担当部署名 福祉部 高齢福祉課

- (2) シルバー人材センター登録者数 466名

うち就業者数 352名 就業率 75.5%

- (3) シルバー事業、年間事業総額 224,520,864円

うち自治体発注額 117,623,759円

- (3) 貴自治体で行っている、高齢者の就労対策事業がありましたらご記入ください。

未記入

19. 高齢者の所得状況について

介護保険第1号保険者の介護保険料 段階別人数（令和4年4月1日現在）

段階	特別徴収	普通徴収	併用徴収	合計	所得区分など
第1段階	1,132	342	86	1,560	生活保護受給者、世帯非課税で老齢福祉年金受給者、世帯非課税で年金収入額80万円以下
第2段階	656	15	38	709	世帯非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計額が80万円超～120万円以下
第3段階	571	8	26	605	〃 合計額が120万円超
第4段階	1,100	178	29	1,307	世帯課税かつ本人が非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下
第5段階	1,254	15	18	1,287	〃 所得金額と合計が80万円超
第6段階	1,199	125	35	1,359	本人課税で合計所得金額が120万円未満
第7段階	1,301	117	29	1,447	〃 120万円以上～200万円未満
第8段階	564	94	20	678	〃 200万円以上～300万円未満
第9段階	188	22	9	219	〃 300万円以上～400万円未満
第10段階	184	39	7	230	〃 400万円以上～600万円未満
第11段階	81	11	2	94	〃 600万円以上～800万円未満
第12段階	38	8	1	47	〃 800万円以上～1,000万円未満
第13段階	38	5	2	45	〃 1,000万円以上～1,500万円未満
第14段階	70	6	3	79	〃 1,500万円以上
合計	8,376	985	305	9,666	

貴自治体独自の介護保険利用料の減免措置はありますか。

- (a) ある (b) ない

20 要介護老人の状況について

もし、段階別の人数が判らない場合は、合計人数だけでもご記入ください。

(1) 認定者及び介護保険料内訳人数（令和3年4月1日現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
合計	174	239	256	282	225	185	105	1,466

(2) 介護保険在宅利用者 保険料段階別人数（令和3年4月1日現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
合計	63	115	180	213	128	65	27	791

(3) 介護保険施設利用者人数（令和3年4月1日現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
合計	0	0	28	39	79	94	63	303

段階ごとの記載はなかった。

21. 介護保険料収納状況 令和3年度の普通徴収の収納状況（%）

段階毎の収納状況の記載はなく 合計のみ 92.18% と記載

22 後期高齢者 所得別男女人数（令和4年4月1日現在）

旧ただし書き所得(円)	男女合計人数(人)	男女別・年金天引きの 人数は記載なし
0	2,750	
1 ~ 150,000	117	
150,001~400,000	191	
400,001~850,000	512	
850,001~1,350,000	466	
1,350,001~1,850,000	224	
1,850,001~2,350,000	80	
2,350,001~2,850,000	52	
2,850,001~3,350,000	33	
3,350,001~3,850,000	25	
3,850,001~4,350,000	22	
4,350,001~4,850,000	22	
4,850,001~5,350,000	12	
5,350,001~5,600,000	4	
5,600,001 ~	130	
合計	4,640	

23 自殺者年代別男女別人数 (令和3年度) (新設)

	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	合計
男性	1	0	0	3	2	0	1	1	8	
女性	0	0	0	1	0	0	1	0	2	
合計	1	0	0	4	2	0	2	1	10	

24 孤独死者(自宅内で死亡した事実が死後判明に至った1人暮らしの人)について
年代別男女別人数と要因 (令和3年度) (新設)

		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	合計
男	男性合計								
	病死								
	自殺	※ 把握していない							
	事故死								
	不明								
女性合計									
女	病死								
	自殺								
	事故死								
	不明								
	総計								